

問題Ⅲ 以下の ヨ ～ ケ に入る正しい答えを選んで解答欄にマークしなさい。

蕎麦屋を経営しており、売上利益を増やすための価格改定を検討している。現状ではかけ蕎麦、月見蕎麦、かき揚げ蕎麦、およびとろろ蕎麦をそれぞれ 500 円、550 円、700 円および 700 円で提供している。原価はそばが 200 円（全てのメニューで必要）、卵が 20 円（月見およびとろろ蕎麦で必要）、かき揚げが 100 円（かき揚げ蕎麦で必要）、とろろが 100 円（とろろ蕎麦で必要）となっている。

これらの原価は表 1 のとおりである。また、メニューに必要な材料（必要な場合に 1）、原価、売値、一杯当たり利益、（かき揚げ蕎麦以外の）一日当たりの売上数等をまとめたものが以下の表 2 となる。金額の単位はすべて円とする。

表 1

	そば	卵	かき揚げ	とろろ
原価	200	20	100	100

表 2

	そば	卵	かき揚げ	とろろ	原価	売値	一杯 当たり 利益	売上数	売上額	売上 利益
かけ蕎麦	1	0	0	0	200	500	300	40	20000	12000
月見蕎麦	1	1	0	0	220	550	330	40	22000	13200
かき揚げ蕎麦	1	0	1	0	300	700	400			
とろろ蕎麦	1	1	0	1	320	700	380	30	21000	11400

(1), (2) $\left\{ \begin{array}{l} \text{学習指導要領 (3) - 知・技・ウ} \\ \text{学習指導要領 (3) - 思・判・表・ウ} \\ \text{学習内容 (3) - ウ モデル化とシミュレーション} \end{array} \right.$

(1) 現状の売値ではかき揚げ蕎麦は一日当たり 40 杯の売り上げがあるとする。この場合には、かき揚げ蕎麦の一日の売上額は ヨ ラ リ 00 円であり、売上利益は ル レ ロ 00 円、この蕎麦屋の一日当たりの売上利益の合計は ワ ラ ン 00 円となる。

(2) 卵の一時的な価格上昇により、卵の原価が 40 円になった。売値の改定は行わず、それぞれの商品の売上数にも変化がないものとした場合、一日当たりの売上利益の合計は あ い 00 円低下する。

- (3) かき揚げ蕎麦の売値を一時的に 50 円値引きしたところ、かき揚げ蕎麦の売上数は 20 杯増加したが、かけ蕎麦ととろろ蕎麦の売上数がそれぞれ 10 杯減少した（なお卵の原価は 20 円に戻っているものとする）。

この場合には、かき揚げ蕎麦の売上利益は う え 00 円増加、他方、かけ蕎麦ととろろ蕎麦からの売上利益は合計 お か 00 円減少しているので、この結果、売上利益の合計の変化額は き く け 00 円である。